

蔵所写真工芸ニュース

平年よりやや気温が低めで推移するものの、だんだん日差しが暖かくなって春らしくなって参りましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、このたび「蔵所写真工芸ニュース」を創刊することとなりました。

ここでは、蔵所写真工芸の日々の活動や話題、そのほかメンバーの考えたこと、あるいは趣味や遊びに至るまで、その時々で思いついたことを綴って参ります。

A4一枚で内容も大したことない物ですが、「蔵所写真工芸がんばってんでー!」の気分を乗せて、皆様にお届けし続けたいと思っています。

トランプの神経衰弱で勝つ方法

10歳の娘、8歳の息子、それに嫁と私の家族4人で時々トランプゲームをやります。大富豪、七並べ、スピードなどを楽しみますが、子ども達が得意の神経衰弱もよくやります。この神経衰弱ばかりは年をとると全く子ども達に全く歯がたちません。嫁はまだましで、子ども達より劣るものの、時には勝ったりしていますが、私は全くダメです。4人だけでやっているのに、3組も取れたら自分一人で喜んでいる始末。ひどいときは1組か2組しかとれません。そこで一計を案じました。どうせ3組ぐらいしか取れないのなら、確実に取ってやろうと思い、自分の一番近くの3枚だけに集中して取ることに決めたのです。他のプレイヤーがめくったカードには目もくれず、ひたすら自分の近くの3枚の数字を呪文の様に頭の中で繰り返します。そうこうしているとその3枚と同じ数字のカードを誰かが他の所で開けてくれるので、運が良くそのカードを誰も取らずに自分の順番に回ってくれば確実にゲットできるというわけです。自分で取ったり、あるいは人に取られて2枚になったら、またその時一番自分に近いカードを加えて、常に自分の近くの3枚だけを頭の中で唱えながらプレーし続けました。ときおり、自分の近くのカード以外でも、運が良かったり、誰かがミスをしたりで取れる事もあったりします。そうこうしているうちにゲームが終了し、取ったカードの枚数を数えてみると、なんと私がゲームに勝利したのです! 神経衰弱で勝利するのは十年ぶりの快挙でした。神経衰弱で子ども達にバカにされてるそのお父さん。この方法、結構いけますよ。お試しあれ!(社長)

営業品目

DTP(版下作成、分版作業、デザイン) 製版用フィルム出力 平板インクジェット出力
その他 各種インクジェット出力 カッティングシート 各種印刷(シルクスクリーン印刷、オフセット印刷等)
金属エッチング アルマイト染色 等

有限会社 蔵所写真工芸 tel 06-6952-4443 fax 06-6958-2682
email kurasho@osaka.email.ne.jp 〒535-0022 大阪市旭区新森5-8-25